

明石原人って何？

～明石人と日本の旧石器時代～



明石原人は、1931 年に明石市の西八木海岸で直良信夫によって発見されました。その後、数奇な運命をたどった「明石原人」とは何だったのでしょうか。

人類進化の最終プロセスと人類の日本到達を念頭に、明石原人について考えてみましょう。

2019 年

2月20日(水)

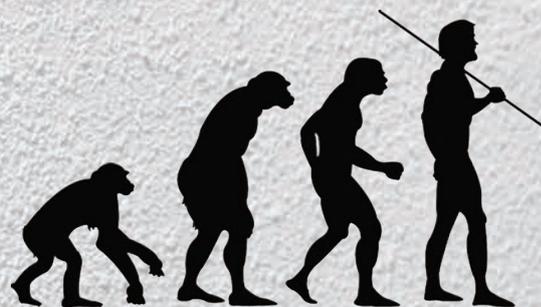
18:00 ~ 19:00 (17:30 open)

講師：早木 仁成 神戸学院大学人文学部教授

場所：大塩邸 (地域研究センター明石ハウス)

明石市大蔵八幡町 5-23

予約不要
参加費無料



神戸学院大学地域研究センター

☎ 651-2180

神戸市西区伊川谷町有瀬 518

☎ 078-974-4232 (火・水・金)

E-mail: frb@human.kobegakuin.ac.jp

■バス： JR明石駅より神姫バス「黒橋」下車、徒歩9分

■電車： 山陽電車「大蔵谷駅」下車、徒歩5分

JR「明石駅」下車、徒歩15分
(南口より国道2号線を東へ)

■車： 国道2号線の黒橋東交差点を南に曲がり、80メートルほど進んだ右側にコインパーキングがあります
(有料：1時間200円 最大料金400円)

